

06 設計演習Ⅱ A
住宅設計

開講年次：学部2年生第3クォーター

[担当教員]
山崎寿一（教授） 近藤民代（准教授） 山口秀文（助教）
島田陽（島田陽建築設計事務所） 山隈直人（kt 一級建築士事務所）
[Teaching Assistant]
鈴木滉一（A68） 高橋和志（A68） 楠橋諒ノ助（A68）

住宅課題：開かれた家
設計課題のテーマは「開かれた家」とする。住宅は家族だけで住み、生活をするだけの器なのか。従来型の住宅パラダイムにとらわれない新しい住宅を構想して提案してほしい。コミュニティカフェを併設した住宅、ワークスペースを備えた住宅、他者と住まうシェアハウジング（但し、家主が居住していること）など、社会や地域への開き方を各自で想定する。居住者構成やライフスタイルは設計条件として、各自が具体的に設定する。

■居住者構成とライフスタイル等の基本要件
居住者構成、居住者のライフスタイル、住宅設計の基本条件は各自で設定する。单身や親族以外の同居も可とする。居住者構成とライフスタイルに応じた空間構成や周辺環境を活かした設計を行う。

- 敷地：選択制とする。
- 敷地 A (160 m2): 八幡神社の南側、参道沿い。
 - 敷地 B (250 m2): 阪神・淡路大震災土地区画整理事業区域内。南側に六甲道北公園。
- 構造・階数
自由に想定してよい。
- 用途地域
- 敷地 A (160 m2): 第1種中高層住居専用地域（建蔽率 60%, 容積率：200%）
 - 敷地 B (250 m2): 第1種住居地域（建蔽率 60%, 容積率 :300%）

■所要室等
標準家族のための専用住居として必要な室だけに留まらず、家族以外の者による居住や利用等、新たな暮らしへの提案も含むものが望ましい。

■提出物・用紙
(1) 所要図面：配置図兼1階平面図 1:100、各階平面図 1:100 立面図 1:100、断面図 1:100、模型写真、外観スケッチ、透視図 設計主旨・面積表 (2) 用紙 :A3 用紙（仕上げ、彩色等自由）



Craftsman Shelter - コウベナダクリエイト -
長央尚真

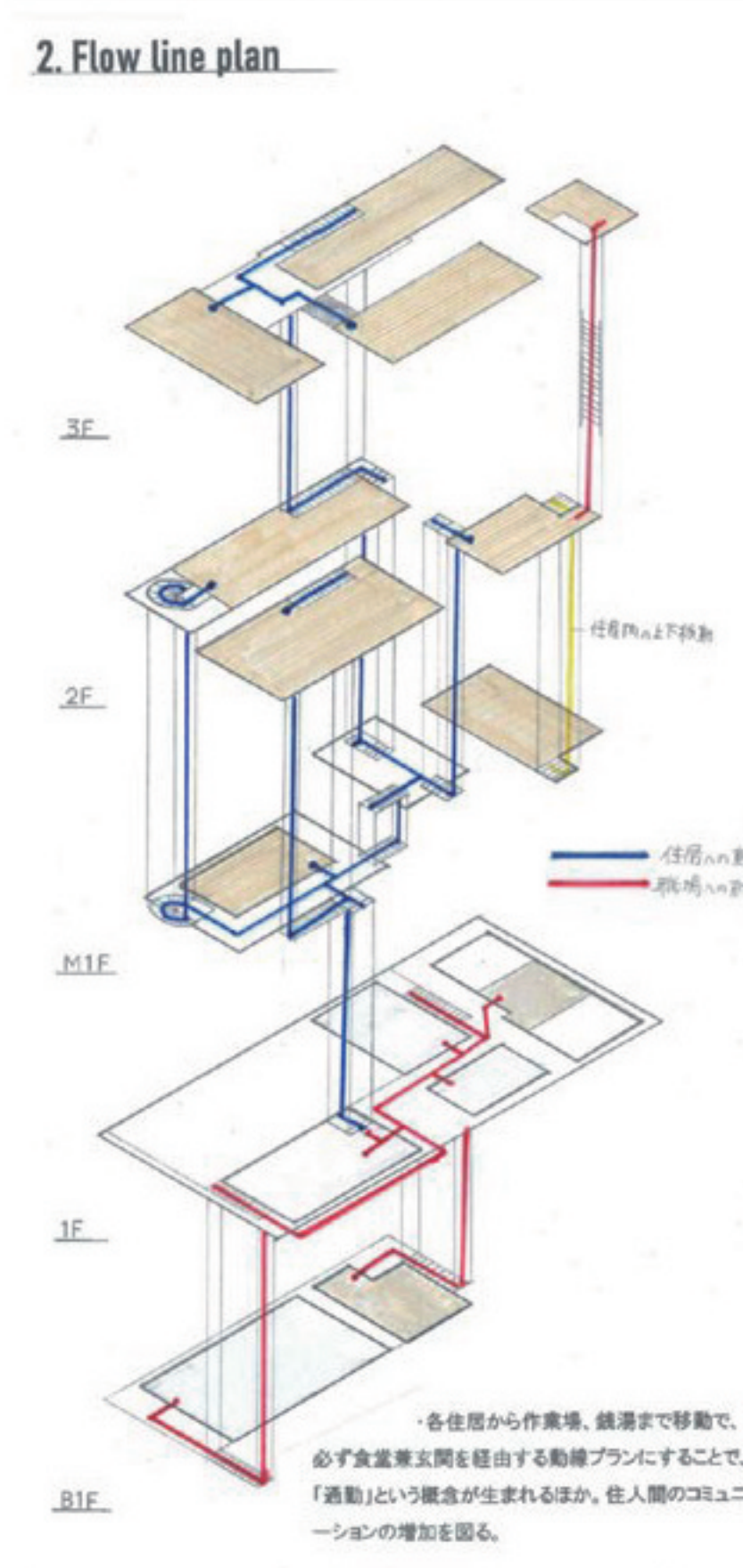
“自宅働く”という言葉の元に SOHO 住宅は生まれた。作業場でモノを作ることを生業とし、在宅勤務ができない職人のために提案する。敷地内で職住分離を図り住宅の機能を、食堂・銭湯などの施設に集約する。住人は職力を共有し衣食住を自己完結させ、地域に提供する。



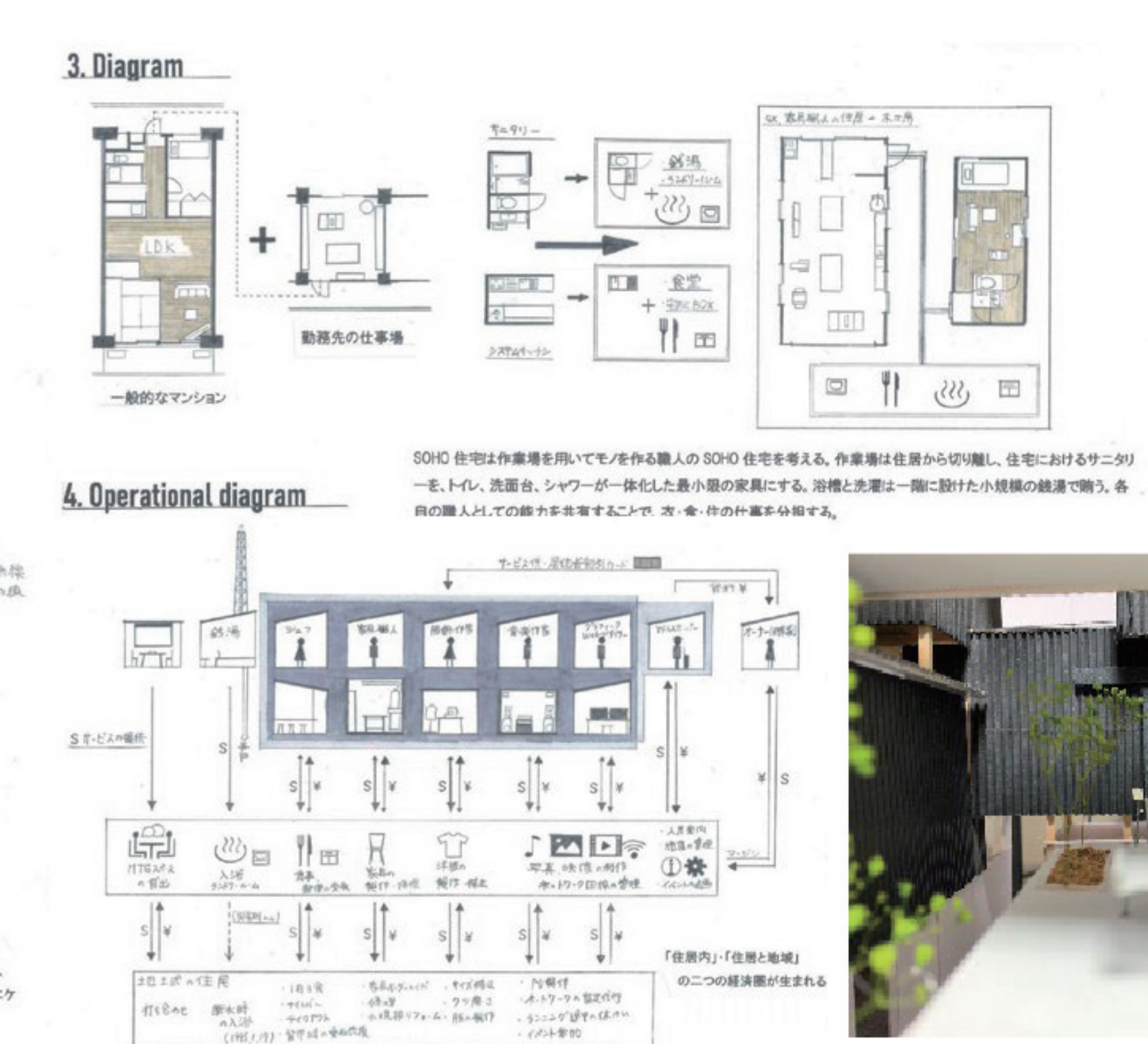
CRAFTSMAN SHELTER
コウベナダクリエイト



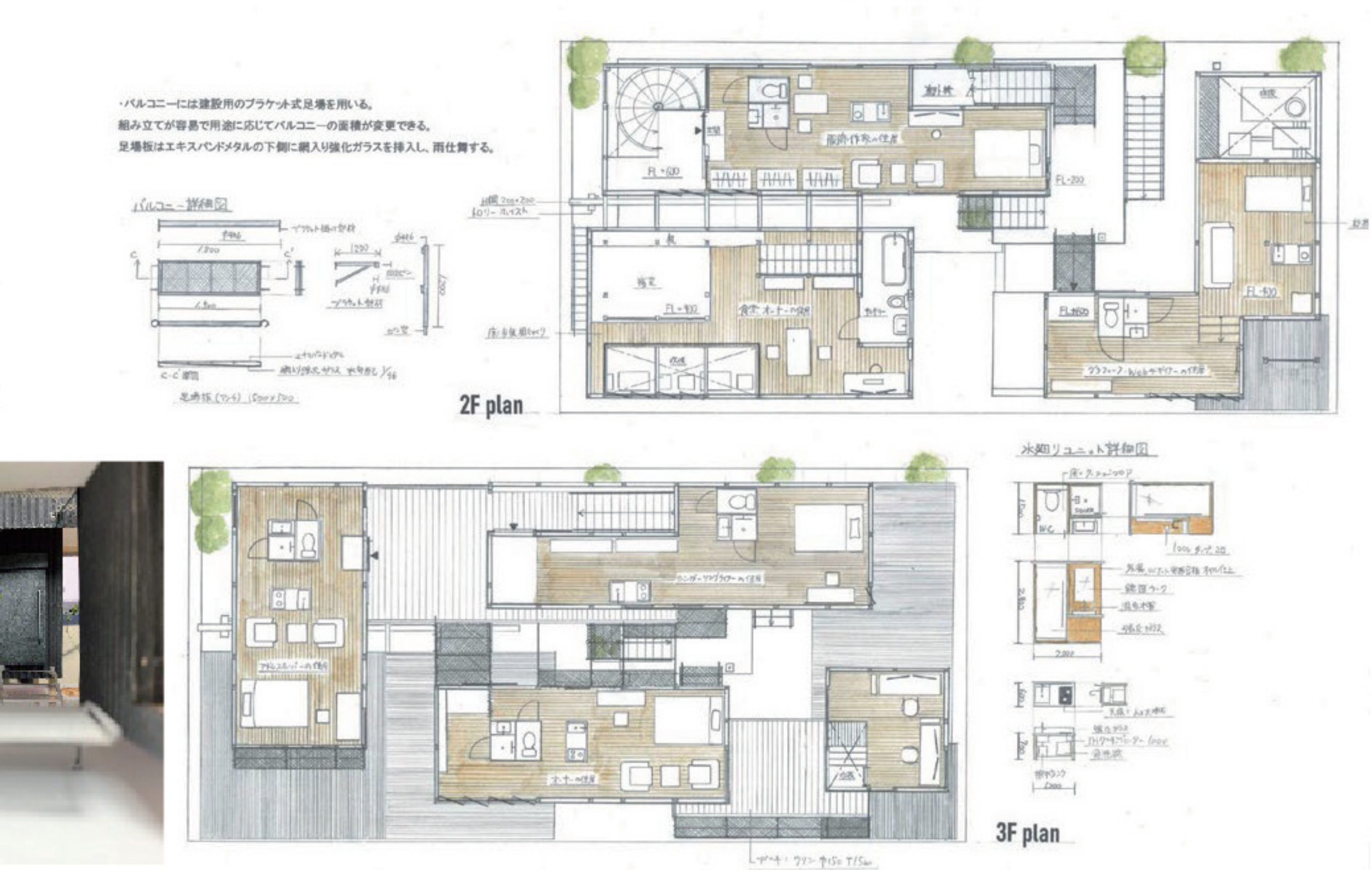
A-A' Cross section
B-B' Cross section
S: 1/100



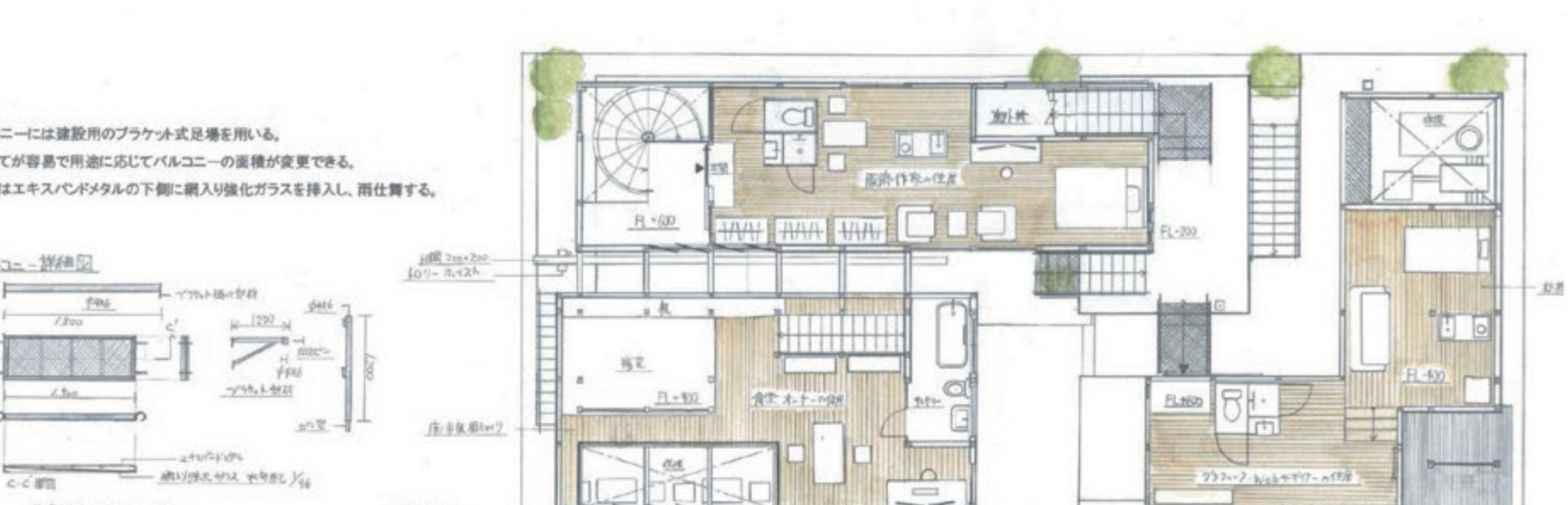
2. Flow line plan



3. Diagram



4. Operational diagram



2F plan

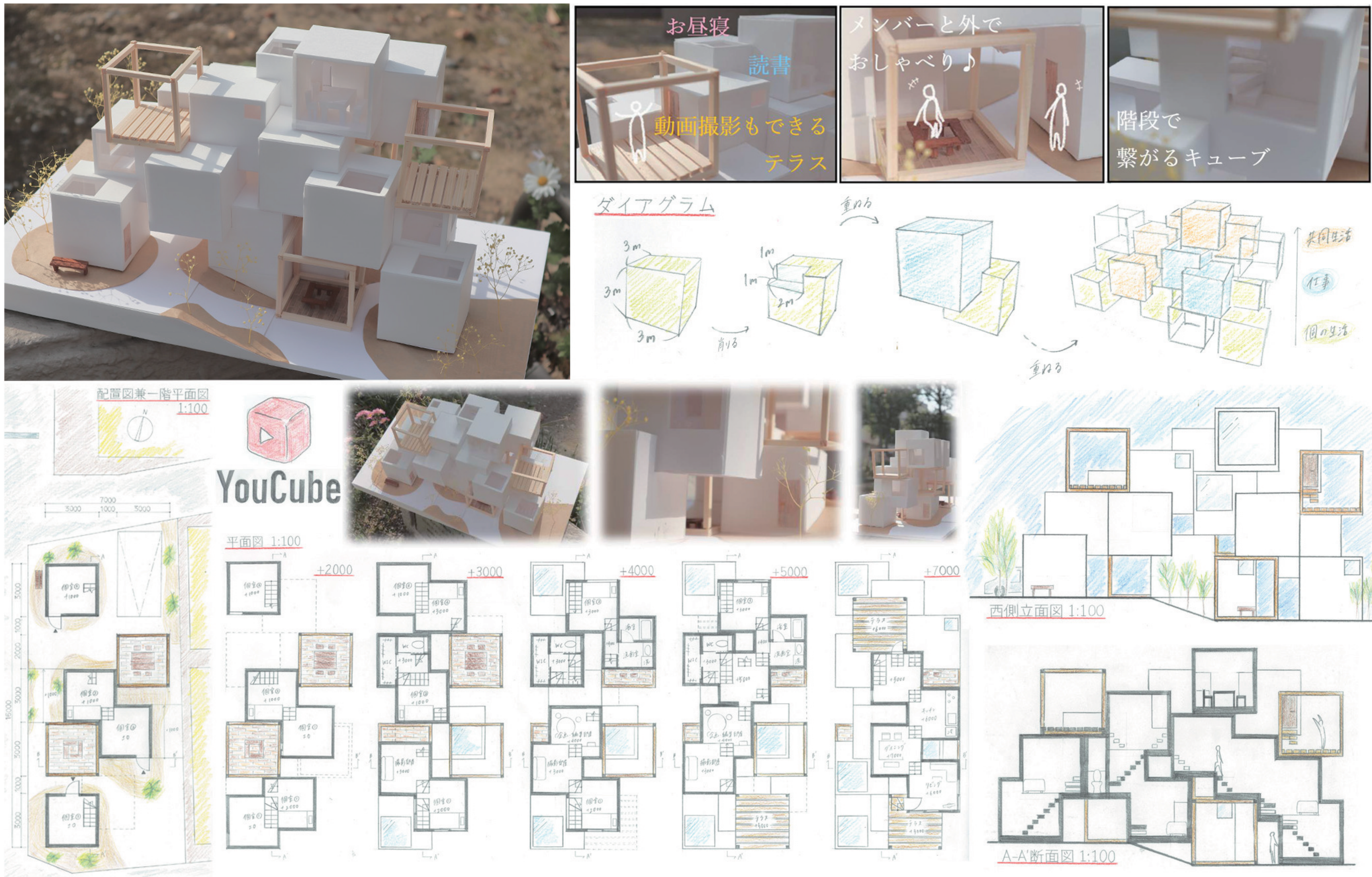


3F plan

YouCube

武波彩代

女性 3 人組 YouTuber の集合住宅。一辺 3m のキューブの角 1m×1m×2m を削り、積み重ね、家を構成した。3 人はそれぞれの玄関から個室のキューブに入り、共同空間のキューブへと繋がる階段をのぼる。個の生活を大切にしながら仕事も共同生活も楽しめる。



外があるうち

落合洸介

「開かれた家」とは、外が内へ、内が外へと延長しあうものだと考えた。そこで、より外との関わりが増すであろう分棟型の住宅とし、住宅の基本要件であるプライバシーは確保しつつも、「家の中に外がある」。そんな住宅を目指した。

